

一般社団法人日本老年歯科医学会 2017（平成 29）年度第 3 回理事会 議事録

日 時：2017 年 6 月 13 日（火）15：00～17：20

場 所：名古屋国際会議場 1 号館 4 階 141 会議室

出 席：櫻井 薫理事長、下山和弘、羽村 章副理事長

佐藤裕二、水口俊介、深山治久、那須郁夫、福島正義、菊谷 武、市川哲雄
菅 武雄、戸原 玄、小野高裕、河相安彦、眞木吉信、石黒幸枝、松尾浩一郎、
小正 裕、渡邊 裕、岩佐康行、平野浩彦、服部佳功、米山武義、高井良招
角 保徳、山崎 裕、阪口英夫 各理事
山根源之、森戸光彦 各監事
渡辺郁馬 名誉会員（陪席）

上田貴之、北川 昇、金澤 学、杉山哲也、伊藤加代子、飯田良平、伊藤誠康
潮田高志、大神浩一郎、中川量晴、高橋一也、梅本丈二、小原由紀、大井 孝、
森田一彦、小林國彦、児玉実穂、高橋賢晃 各幹事

欠 席：片倉 朗、津賀一弘 各理事

佐川敬一朗、矢儀一智、堀 一浩、玄 景華、大野友久 各幹事

I. 開会の辞

羽村副理事長より、開会の辞が述べられた。

II. 理事長挨拶

櫻井理事長から本学会が各方面から期待されている旨、口腔機能低下症の周知をお願いしたい旨、老人保健健康増進事業が本年度も採択された旨、本学会の研究成果が中医協の資料にも掲載されている旨、さらに、社会的要請に応えるため活発な学会活動をお願いしたい旨、挨拶があった。

III. 大会長挨拶

櫻井大会長より関係各位への学術大会開催準備に対する感謝と挨拶があった。

IV. 議長選出

定款に則り櫻井理事長が選出された。

V. 確認事項

1. 定足数の確認〔定款第 32 条、理事現在数（29 名）の 2 分の 1 以上の出席〕
佐藤総務担当理事より、27 名の出席があり定足数を満たしている事が確認された。
2. 配付資料の確認
3. 2016 年度第 7 回理事会議事録
4. 2016 年度第 8 回理事会議事録
5. 2016 年度第 9 回理事会議事録

6. 2017年度第1回理事会議事録

7. 2017年度第2回理事会議事録

櫻井理事長より、配布資料および平成28年度第7回理事会議事録、第8回理事会議事録、第9回理事会議事録、平成29年度第1回理事会議事録、第2回理事会議事録の提示があり、確認を行った。

VI. 協議事項

1. 名誉会員の推戴について

櫻井理事長より砂川 元先生を候補者として推薦したい旨の提案があり、承認された。

2. 2016年度事業報告及び収支決算について

佐藤理事より事業報告、那須理事より収支決算について説明があり、山根監事より監査報告の後、承認された。

3. 2017年度事業計画（案）及び収支予算（案）について

櫻井理事長より事業計画（案）、那須理事より収支予算（案）の説明があり、承認された。

4. 2017年度学会功労賞について

櫻井理事長より、井上農夫男先生、森戸光彦先生を推薦したい旨の提案があり、承認された。

5. 新規入会者の承認について

櫻井理事長より説明があり、新規入会者352名が承認された。

6. 倫理審査委員会規程の一部改正について

山崎理事より資料をもとに説明があり、承認された。

7. 要介護高齢者の口腔・栄養管理のガイドライン 2017 について

渡邊理事より説明があり、今回は採決をとることなくメール会議で今後検討・協議されることが承認された。

8. 2020年度学術大会（設立30周年記念大会）および大会長について

櫻井理事長より開催の趣旨説明の後、水口理事を大会長に推薦したい旨、2020年6月頃に開催地は東京近辺である旨、提案があり承認された。水口理事から大会長拝命の挨拶があった。

VII. 報告事項

1. 会務報告（櫻井理事長）

櫻井理事長から報告があった。

2. 総務報告（佐藤理事）

会員数動向、認定制度認定医数・専門医数および指導医数、摂食機能療法専門歯科医師数、平成29年度活動状況および引き継ぎ事項について報告があった。

3. 学術報告

1) 学術委員会報告（水口理事）

「高齢期における口腔機能低下—学会見解論文 2016 年度版—」が掲載され報道発表、報道説明会を開催した旨、脳卒中 WG が活動中である旨、第 27 回学術大会、第 23 回日本歯科医学会でシンポジウムを開催した旨、「高齢期における口腔機能低下—学会見解論文 2016 年度版—」の英文化をしている旨、学術大会におけるコンテンツを計画している旨、報告があった。

2) 第 28 回学術大会（櫻井大会長）

学術大会開催に先立ち、挨拶があった。今回は Web 上のアプリでプログラムを見る事が可能な旨、会員懇親会ではアトラクションが企画されている旨、報告があった。

3) 第 29 回学術大会（佐藤大会長）

学術大会の概要についてフライヤーと資料を基に報告があった。各委員会からの企画の提案は、本年 8 月までをお願いしたい旨、要望があった。

4) 第 30 回学術大会（米山大会長）

学術大会の概要について資料を基に報告があった。

5) 2016 年度老人保健健康増進等事業 報告（渡邊理事）

資料（「介護保険施設における歯科医師、歯科衛生士による適切な口腔衛生管理体制のあり方に関する調査研究」報告書の抜粋）を基に報告があった。

櫻井理事長より、平成 29 年度老人保健健康増進等事業が採択され吉田光由先生に委員長として作業部会をお願いしたい旨、報告があった。

6) 2016 年度日本歯科医学会連合 医療問題関連事業 課題 報告（水口理事）

昨年度は 2 件認定され、本年度は 2 件申請している旨報告があった。

7) その他

特になし。

4. 編集報告（深山理事）

平成 28 年度活動状況、「学会の沿革」の原稿依頼を行った旨、学術大会の原稿依頼を行う旨、今後も投稿をお願いしたい旨、報告があった。

5. 財務報告（那須理事）

那須理事より、平成 28 年度活動状況について説明があり、役員外（会員）および非会員の学会事業にともなう旅費支弁の調整を行った旨、報告があった。また、平成 29 年度活動計画として 30 周年記念事業に向けた資金について報告があった。

6. 各種委員会 2016 年度活動報告および 2017 年度活動計画

1) 教育問題検討委員会（福島委員長）

歯学教育モデル・コア・カリキュラム（平成 28 年度版）の改訂に係る意見照会、平成 30 年度歯科医師国家試験出題基準改定案に対するアンケートに対応した旨、平成 29 年度活動計画について報告があった。伊藤幹事より、歯科大学・歯学部における「老

年歯科医学教育の実態調査」および「教育基準（2015年）の教育状況」のWeb調査について報告があった。

2) 社会保険委員会（菊谷委員長）

平成30年度診療報酬改定にあたり2件（口腔運動機能検査、口腔機能管理）の医療技術評価提案書を作成した旨、歯科医院における管理栄養士雇用の実態調査を行った旨、報告があった。

3) ガイドライン委員会（市川委員長）

日本歯科医学会診療ガイドライン作成者意見交換会に参加した旨、「認知症高齢者の歯科的対応および歯科治療のあり方」に関してAMED事業と連携した旨、報告があった。

4) 在宅歯科医療等検討委員会（菅委員長）

「在宅歯科医療の基本的考え方2016」を日本歯科医師会に提出した旨、日本歯科医学会より「在宅歯科医療に関する検討委員会」委員の推薦依頼があり2名を推薦した旨、報告があった。

5) 摂食嚥下リハビリテーション委員会（戸原委員長）

代理として飯田幹事より摂食機能療法専門歯科医師制度が実施され、現在まで40名、16機関が認定された旨、報告があった。

6) 国際渉外委員会（小野委員長）

第28回学術大会にTAGDのLin会長を指定発言者として招聘した旨、4月にEuropean College of Gerodontologyがマルタ島で開催され櫻井理事長が招聘された旨、来年ロンドンで開催されるIADRの高齢者歯科部会(GORG)のサテライトミーティングに参加を検討している旨、報告があった。

7) 広報・研修委員会（河相委員長）

ニュースレターの刊行、各種パンフレットの作成、ホームページの更新、老年歯科医学教育基準（英語版）のホームページ掲載を予定している旨、学術大会におけるFacebookの活用に関する報告があった。

8) 研修委員会（片倉委員長）

代理で下山副理事長から第1回研修会が東京で開催された旨、第2回研修会が10月に大阪で開催予定である旨、第3回、4回も計画されている旨、報告があった。

9) 学術用語委員会（眞木委員長）

第28回学術大会時に本委員会企画のシンポジウムを開催する旨、新規用語を学会誌に掲載していく旨、「日本老年歯科医学会歯科医学会学術用語集」の改訂作業に協力している旨、報告があった。

10) 歯科衛生士関連委員会（石黒委員長）

主催セミナーを開催する旨、学会会期中に認定衛生士相談コーナーを開設した旨、歯科衛生士部門のポスター賞の一次審査を実施した旨、報告があった。

11) 認定制度委員会（松尾委員長）

12) 認定資格検討委員会（松尾委員長）

13) 研修機関認定委員会（松尾委員長）

認定医・専門医新規審査、研修機関の新規および更新申請の審査を行った旨、日本老年歯科医学会専門医研修の到達目標の修正について、教育検討委員会と協議した旨、認定審査ポスターの運営について協議した旨、報告があった。

14) 認定試験実施委員会（小正委員長）

メール会議を行った旨、専門医試験を福岡歯科大学で実施した旨、本年度の認定医試験を6月14日に実施し46名が受験予定である旨、報告があった。

15) 専門医試験問題作成委員会（渡邊委員長）

2017年11月実施予定の専門医試験の問題作成を依頼し96名より提出があった旨、報告があった。

16) 多職種連携委員会（岩佐委員長）

特任委員会の活動支援を行った旨、「要介護高齢者に対する口腔・栄養管理に関するガイドライン（暫定版）」のブラッシュアップを行った旨、報告があった。

17) 支部組織・地域保健医療福祉検討委員会（平野委員長）

昨年は支部長会を開催した旨、第28回学術大会時にシンポジウム併催支部長会を企画運営している旨、報告があった。

18) 学会間連携委員会（服部委員長）

日本顎口腔機能学会より提携に向けた提案を受け、具体的な方途を検討する旨、日本補綴歯科学会にガイドライン作成を視野に置いた提携を提案する旨、報告があった。

19) 表彰委員会（米山委員長）

優秀ポスター賞コンペティションの実施、優秀口演賞、優秀ポスター賞、受賞者の選出について説明があった。また、総会時と会員懇親会時に各賞受賞者の表彰がある旨、多数の参加をお願いしたい旨、報告があった。

20) 規程委員会（高井委員長）

メール会議を行い規程の改正を行った旨、報告があった。

21) 倫理委員会（角委員長）

倫理に関する事項および理事会から諮問された事項は確認されていない旨、報告があった。

22) 倫理審査委員会（山崎委員長）

倫理審査の申請が2件あり、1件は条件付き承認、1件は書類不備につき不受理とした旨、改正倫理指針に適応した雛形の作成を行う旨、HP上から倫理研修をe-ラーニング（CITI Japan）で受講可能なシステムを導入した旨、報告があった。

23) 利益相反委員会（羽村委員長）

役員のコイ申告に関わり運用を整備し細則を一部改正した旨、学術大会演題登録時の申し合わせを作成し、COI開示について検討した旨、報告があった。

7. 日本歯科医学会報告（櫻井理事長）

専門分科会に2学会が認定された旨、次年度から再チェックが始まる旨、プロジェクト研究費申請に応募した旨、報告があった。

8. 日本歯科医学会連合報告（櫻井理事長）

日本歯科医学会連合の概要について説明と報告があった。

9. 日本歯学系学会協議会報告（羽村理事）

昨年度は2回のシンポジウムが開催された旨、本年度は6月22日にシンポジウム「歯科医師数の需給推計予測と今後の見通し」、11月に日本歯科医師会と共同シンポジウムが開催される旨、案内があった。

10. 歯学系学会社会保険委員会連合報告（佐藤理事）

歯保連試案が発刊された旨、報告があった。

11. 日本老年学会報告（櫻井理事長）

山根監事、森戸監事を名誉会員として推薦した旨、7月にサンフランシスコで開催されるIAGG（国際老年学会）に櫻井理事長が参加される旨、報告があった。

12. その他

森戸監事より、ガイドラインの申請時には是非他学会と連名で行ってほしい旨、お願いがあった。福島理事よりガイドライン作成について質問があり、市川理事より現在ガイドライン委員会では作成を行っていない旨、回答があった。平野理事よりガイドラインは使えるものが強く要求されている旨、追加の発言があった。眞木理事より歯磨剤への含有フッ素濃度の変更が報告された。那須理事より、日本老年学会の高齢者の定義見直しについての報告書がダウンロード可能な旨、報告があった。菊谷理事より、閣議決定された「経済財政運営と改革の基本方針2017（骨太の方針2017）」の中に歯科関連の記載がある旨、報告があった。

VIII. 閉会の辞

下山副理事長より、スムーズな討議、報告に対する謝意が述べられた。

参考資料

1. 委員会委員一覧
2. 支部長一覧
3. 関係団体担当一覧